

分野	経済上昇くまもと	戦略	魅力的で、豊かな基盤を持ち、世界に飛躍する農林水産業
		重点的に取り組む施策	耕作放棄地及び休耕田の有効利用促進

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上：H21予算 中：H21決算 下：H22予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
1	耕作放棄地解消緊急対策事業	15,000 9,375	耕作放棄地解消の先進的な取り組みを進めるため、国対策の対象となっていない農用地区域外の耕作放棄地について、解消に向けた取組を県独自で支援する。(市町村、農業委員会等が事業主体、耕作放棄地を耕作地に戻した面積に同じ助成。)	○平成21年度の実績、成果 29.9haの解消が行われ、8,953千円の助成金を交付した。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 国対策の対象外である農用地区域の自己所有地の解消について、県独自の対応が必要であるため、平成22年度はこれを本事業の対象に加えて、一層の解消促進を図る。
	農地・農業振興課	15,000		
2	子どもたちによる耕作放棄地再生モデル事業	10,000 7,810	耕作放棄地を活用して地元の子どもたちが農業体験等を行う取り組みに対して助成金を交付し、児童・生徒の農業理解と食育に資するとともに、地域における耕作放棄地の解消の気運醸成を図る。	○平成21年度の実績、成果 学校、PTA、JA、農家組織、NPO法人など16の事業主体が、耕作放棄地134aを再生して農業体験学習や食育活動を実施した。事業の実施により、地域における耕作放棄地解消の気運醸成が図られたほか、報道にも度々取り上げられ一般県民への啓発としても効果的であった。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 平成22年度は事業費の上限額を引き下げて、より多くの市町村で実施されるよう、取り組み予定地区数を22に増やす。
	農地・農業振興課	10,000		
3	遊休農地活用イエロープロジェクト事業	-	遊休農地の解消を図るとともに、新幹線沿線を中心として美しい農村景観の形成を促進するため、ナタネ等の景観作物を付する取り組みや搾油用機械の導入等に対して、助成金を交付する。	○平成21年度の実績、成果 - ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 耕作放棄地等の活用を図る際の作物として景観作物を推進することにより、農業以外の幅広い県民を巻き込んだ耕作放棄地解消運動の盛り上げを図る。
	農地・農業振興課	19,400		
4	農地・水・環境保全向上対策事業「資源保全活動支援」	454,364 454,116	農村地域では、高齢化や混住化などにより農村環境の維持が難しくなってきた。 そのため、農村環境を良好に保全し、更なる向上を目指して農家と非農家が一緒に行う地域共同の活動を支援するもの。	○平成21年度の実績、成果 平成21年度においても地域活動における耕作放棄地の保管理への積極的な取組を促進し、4月には、耕作放棄地解消事例集を配布し、啓発を図った。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 事業内容のより一層の周知啓発を行い、活動の量的・質的向上を図るとともに、各活動組織の運営強化を図っていく。
	農村整備課	468,000		
5	中山間地域等直接支払事業	1,742,278 1,742,125	平地に比べ営農条件が厳しい中山間地域等では、高齢化や過疎化の進展による耕作放棄地の増加や集落機能の低下による、農村・農地の持つ多面的機能の維持が困難になっている。 そこで、農業生産条件の不利な農振農用地区区内で、一定の傾斜基準を満足する、営農上まとまりがある団地に対して、集落協定等を締結し、5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者に対して、直接支払い交付金を交付する。	○平成21年度の実績、成果 県内35市町村の農用地(面積32,586ha)で活用され、中山間地域の条件不利が是正された。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 本制度が、平成22年度から第3期対策に入るため、市町村初任者研修や県担当者会議、また、市町村との意見交換等の機会を活用し、前期対策と同等の取り組み面積を確保する。
	農村整備課	1,919,996		
6	非主食用米総合推進事業	89,534 86,458	休耕田等の有効活用や農家所得の向上等を図るため、米粉用米や飼料用米等の非主食用米の生産を総合的に推進する。 ①低コスト・パイロットモデル地区支援 非主食用米生産のモデル地区に対し、ハード・ソフト両面から支援 ②米粉普及推進 米粉用米の生産振興及び需要拡大のため、農業者、実需者、一般県民等を対象とした普及啓発を実施 ③新規需要米生産製造連携施設整備事業 米粉用米や飼料用米の生産拡大、処理加工等のための機械施設の整備及びソフト活動に必要な経費を支援	○平成21年度の実績、成果 ・非主食用米の作付面積は着実に増加 米粉用米 0.5ha→100ha 飼料用米 38ha→246ha 焼酎原料用米 46ha→78ha ・米粉製造施設の整備(県内2地区)により、県内の米粉生産体制の強化が図られた。 ・コンテストの実施、情報誌による広報、新商品の開発等を通じ、県内での米粉に対する認識が高まった。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・非主食用米のさらなる需要拡大のため、大手企業等に対する利用促進の働きかけ、取扱店の拡大などの普及促進を行っていく。 ・非主食用米の低コスト・高収益栽培体系の県内への普及のため、モデル地区における技術実証等を図る。
	農産課	167,902		

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上：H21予算 中：H21決算 下：H22予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
7	県産米粉パン地産地消 促進事業	60,375 39,680	県産米粉パンを小中学校等の学校給食へ普及定着させる取り組みを支援し、米粉パンの認知度向上、地産地消、自給率向上、休耕田等を活用した米粉用米の生産拡大を図る。	○平成21年度の取組みの実績、成果 ・平成21年9月から、全国に先駆けて、県内約600校、約16万人の児童生徒を対象とした週1回程度の県産米粉パン給食の実施を支援するとともに、各学校において、米や米粉に関する食育活動の取組が増加した。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・学校給食への米粉パンの普及定着。 ・米や米粉をテーマとした食育活動の推進。
	農産課	57,960		
8	球磨焼酎等ブランド確 立推進事業	15,149 14,589	県産米の活用による地産地消の推進及び農工商が連携した球磨焼酎等地元産焼酎のブランド確立のため、焼酎原料用米として地元で費消される加工用米の生産者に対し、主食用米並の収入が得られるよう助成を行う。	○平成21年度の取組みの実績、成果 球磨地域振興局管内の4地域協議会に対して助成を行い、地元焼酎メーカーへの原料米の供給量が増加した。 取扱蔵元数 11蔵元→14蔵元 供給数量 167t→305t 生産面積 46ha→78ha ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 実需者（蔵元）の需要量がさらに拡大するよう、働きかけが必要。 多収米の導入や低コスト栽培等、生産農家の収益向上を図っていく必要がある。
	農産課	50,000		
9	球磨焼酎等ブランド確 立支援事業	2,693 2,403	農工商連携による新たな取り組みとして、県内で生産される焼酎原料米の供給体制の確立や球磨焼酎のブランド化を推進する。 (平成22年度事業) ・球磨焼酎消費拡大キャンペーン ・PR資材の作成 ・酒器の作成	○平成21年度の取組みの実績、成果 ・球磨焼酎振興プロジェクト協議会設立 ・球磨焼酎消費拡大シンポジウム開催 ・球磨焼酎に合う料理リストの作成 ・焼酎原料米生産の助成 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・効果的にキャンペーンを行うことで、継続的な球磨焼酎の消費拡大につなげることが課題。 ・球磨産米を使用する蔵元を増やし、普及を図る。
	くまもとブランド推進課	4,500		
10	「クマコメ」畜産物確 立推進事業	—	輸入とうもろこしの代替として飼料用米を配合飼料に一定量以上混合した飼料を生産し、この飼料を給与した牛肉を販売するまでの一連の取り組みを行う農協等に対して、飼料用米を購入するための経費の一部を助成。 上限単価15円/kg [平成21年度の状況] ・平成21年度飼料用米作付面積246ha ・このうち約8割は経済連を経由して県外で利用 ・2割は県内の菊池地域や宇城地域で牛肉や鶏卵の生産に利用	○平成21年度の取組みの実績、成果 — ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・県単事業を活用して、県内利用割合を向上させる必要がある。
	畜産課	7,500		
11	こだわり(飼料用米給 与)畜産物PR事業	—	緊急雇用創出基金を活用し、飼料用米を給与したこだわり畜産物をスーパー、物産館、道の駅等で試食・販売を行い、こだわり畜産物のPR活動を実施する。 [平成21年度の状況] ・飼料用米を給与した牛肉(えこめ牛)や鶏卵(八十八卵)の販売を開始	○平成21年度の取組みの実績、成果 — ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・飼料用米を給与した畜産物の生産者の組織化を図り、畜産物の認知度向上と消費拡大を一体的に図る必要がある
	畜産課	4,528		
12	県営かんがい排水事業	2,626,506 1,946,451	農業生産の基礎となる農業水利施設(用排水路、用排水機場等)の未整備や老朽化のため、農業用水の不足や農地の排水不良があり、安定した農業生産の支障となっている。そのため、水利施設の建設、改修を行うことにより、作物の生育に最適な水管理による多様な作物導入、水田の乾田化及び湛水防止により施設園芸の導入を可能とし、高品質、低コストの売れる農作物作りの実現を図る。	○平成21年度の取組みの実績、成果 ・農業用排水施設の整備を17地区で実施し、内2地区が完了。 ・農業用排水施設の補修・更新整備を2地区で実施。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・河川未改修地区の排水対策が遅れており、河川改修事業との連携を取り事業進捗を図る。 ・既設農業用排水施設の老朽化が進行しており、施設の点検診断による計画的な補修・更新整備を図る。
	農村整備課	1,572,886		
13	県営経営体育成基盤整 備事業	6,793,394 4,097,635	将来の農業生産を担う効率的かつ安定的な経営体を育成し、これら経営体が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立することを目的に、必要となる生産基盤及び生活環境の整備と経営体の育成を一体的に行う。	○平成21年度の取組みの実績、成果 ・平成21年度3地区完了し、事業効果を発現した。 ・計画目標の農地集積率をクリアするよう、完了地区から順次、年度計画に従って担い手への農地集積を図った。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・継続地区の中には、長工期化している地区があり、新規地区対応も含めて事業管理の徹底が課題である。
	農村整備課	1,809,370		